

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【公開番号】特開2013-198146(P2013-198146A)

【公開日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2012-66702(P2012-66702)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 03 B 13/06 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 B

G 03 B 13/06

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月24日(2014.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回路基板上部に反射型液晶表示素子を搭載し、該反射型液晶表示素子上部にフロントライトを具備した反射型液晶表示装置を用いた電子ビューファインダーにおいて、

前記反射型液晶表示装置の画像を拡大表示するための接眼レンズと、前記接眼レンズと前記反射型液晶表示装置を保持し覆うための鏡筒と、前記接眼レンズ光軸と水平垂直方向に回転軸を持つ回転機構部と、前記反射型液晶表示装置を動作させる回路基板ユニットと、前記反射型液晶表示装置のピーキング(P E A K I N G)、色度(C H R O M A)、コントラスト(C O N T R A S T)、輝度(B R I G H T)の可変ボリュームと、前記反射型液晶表示装置のタリー(T A L L Y)、ゼブラ(Z E B R A)、色度(C H R O M A)の動作スイッチと、前記回路基板ユニットを覆うためのケースを具備し、前記接眼レンズ光軸上で前記接眼レンズから直視可能な位置に、前記反射型液晶表示素子の表示面を配置することを特徴とする反射型液晶表示装置を用いた電子ビューファインダー。

【請求項2】

前記反射型液晶表示装置は前記鏡筒にネジ締め固定されており、前記回路基板ユニットを覆うための前記ケースを取り外すことなく、前記反射型液晶表示装置を電子ビューファインダーから着脱可能な構造であることを特徴とする請求項1記載の反射型液晶表示装置を用いた電子ビューファインダー。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】